

## 平成24年度 教育委員会 第9回定例会 議案

1 日 時 平成24年8月7日（火） 午前9時15分

2 場 所 本館4階401会議室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 議 事

(3) 報告事項

(4) 閉 会

## 第9回定例会 報告事項

番号	項 目	Page
1	特別支援セミナー	1
2	平成 25 年度教員採用第 1 次選考試験の結果	3
3	三ヶ日青年の家 平成 25 年度の運営	4
4	<非>静岡県社会体育施設指定管理者評価委員会による平成 23 年度業務の評価結果	非
5	<非>平成 23 年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果<速報値>	非
6	<非>平成 24 年度 9 月補正予算調整案の概要	非

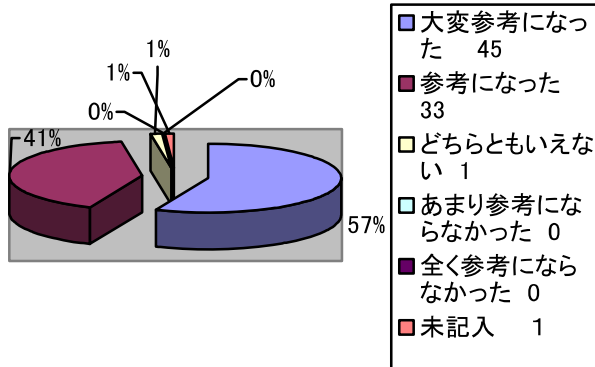
## 特別支援セミナー

(学校教育課)

- 1 目的 早期からの特別支援教育支援体制の構築・充実のため、学校間ネットワークの構築・強化、相談支援ファイルの導入・活用などについて、グランドモデル地域の取組を基に、市町教育委員会や保健福祉部局の担当者等が、各市町の取組の実情を知ったり、充実のための方法を議論する場とする。
- 2 日時 平成 24 年 7 月 12 日 (木)
- 3 場所 静岡県男女参画センター あざれあ
- 4 参加者 各市町障害福祉担当課・教育委員会・チーフコーディネーター 計 89 名
- 5 アンケート結果

(1) 講演「地域での支援体制を構築するために」

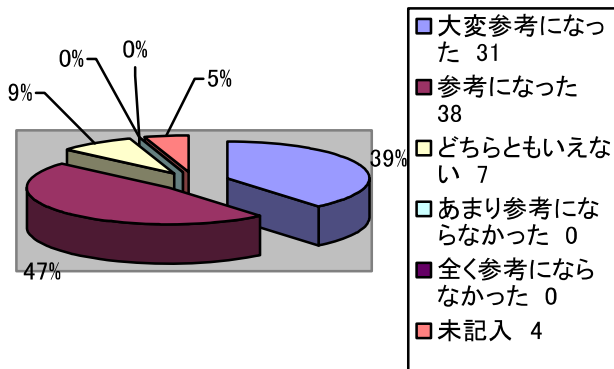
静岡てんかん・神経医療センター 杉山 修氏



概論ではなく日頃の実践や事例、本人を中心とした支援の中から、苦勞したことやうまくいった点、またはうまくいかなかった点について、いろいろな立場からお話を伺った

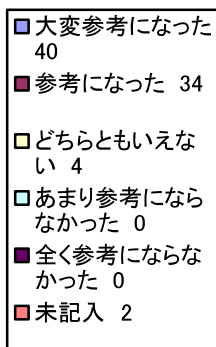
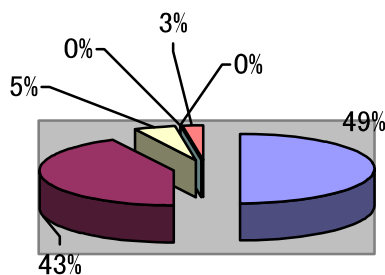
- ・理念と思いを大切にしていこうと多くの出席者が感銘を受けた
- ・ライフステージを見据えた指導のために、現在みている子どもの先を見据えて支援に当たることが大切であること
- ・保護者の不安を取り除くことが大事であること等を理解した 等

(2) グランドモデル地区 (小山町・御前崎市・菊川市) からの報告



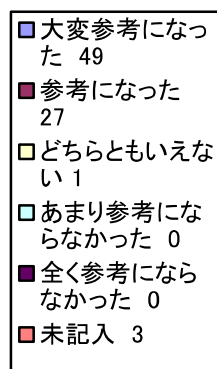
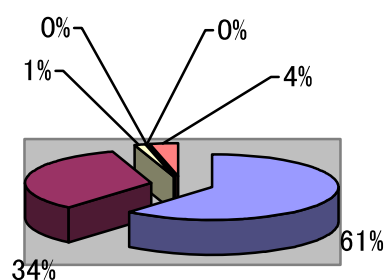
- ・小山町の専門家チームについてのお話がとても参考になりました
- ・各市町、共通した課題、個別課題が明らかになり、共通した支援ツール「すくすくサポートファイル」のそれぞれの内容を知ることができてよかった 等

(3) 情報提供（しずおかサポートファイルについて）



- ・サポートファイルの必要性を理解しながらも活用の仕方や保存方法などについて今後検討していきたいと前向きな意見が多く聞かれた
  - ・サポートファイルは取捨選択して使っているのがいい
  - ・話を聞いたり、実物を見たりできたのが良かった
- 等

(4) 分科会（協議）



- ・各市町の具体的な取り組みや課題を知ることができたという意見が圧倒的多数
  - ・参考になったことを踏まえ、自分の市町に活かしていきたいと意欲的であった
  - ・同じ政令市として、他の政令市の情報が得られたこと
  - ・同じ規模の分科会では、同じような課題があり参考になった
- 等

5 総合所見

多くの出席者が“連携”や“つながり”の重要性を感じることができた機会となり、各市町の中でも、お互いの立場を理解し、他市町の実状を知ることによって、自分の市町を見直す契機となった。

今後は県教育委員会としては、健康福祉部等関係部署と連携し、“連携”や“つながり”がさらに“深まり”“広がり”に発展していくよう支援していく。

平成 25 年度教員採用第 1 次選考試験の結果

(学校人事課)

(要旨)

平成 24 年 7 月 7 日 (土) 8 日 (日) に実施した、平成 25 年度教員採用第 1 次選考試験について、厳正な選考作業を進め、下記のとおり結果となった。

(概要)

1 合格者数等について

高等学校教員						特別支援学校教員						小・中学校教員							
教科	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数	倍率	校種教科	志願者数	欠席者数	受験者数	合格者数	倍率	校種教科	志願者数 (小中共通)	欠席者数 (小中共通)	受験者数 (小中共通)	合格者数 (小中共通)	倍率		
国語	120	12	108	36	3.0	小学部	155	3	152	97	1.6	小学校	779	32	747	379	2.0		
地歴	159	14	145	30	4.8	中 学 部	国語	13	0	13	8	1.6	中 学 校	国語	94 <25>	5 <0>	89 <25>	44 <17>	2.0
公民	55	10	45	6	7.5		社会	64	0	64	14	4.6		社会	132 <16>	14 <0>	118 <16>	44 <8>	2.7
数学	131	11	120	42	2.9		数学	9	0	9	3	3.0		数学	105 <19>	4 <1>	101 <18>	40 <8>	2.5
理科	167	17	150	38	3.9		理科	9	1	8	3	2.7		理科	84 <13>	9 <2>	75 <11>	38 <6>	2.0
保体	248	24	224	30	7.5		音楽	18	0	18	13	1.4		音楽	60 <6>	7 <2>	53 <4>	12 <3>	4.4
家庭	45	1	44	8	5.5		美術	9	0	9	6	1.5		美術	20 <1>	1 <0>	19 <1>	4 <1>	4.8
農業	23	4	19	6	3.2		保体	116	8	108	16	6.8		保体	122 <12>	14 <1>	108 <11>	38 <4>	2.8
工業	83	10	73	23	3.2		技術	5	1	4	2	2.0		技術	14 <3>	0 <0>	14 <3>	4 <1>	3.5
商業	75	6	69	4	17.3		家庭	7	1	6	4	1.5		家庭	16 <2>	3 <0>	13 <2>	4 <2>	3.3
水産	10	1	9	6	1.5		英語	26	0	26	13	2.0		英語	126 <11>	15 <1>	111 <10>	52 <4>	2.1
英語	137	15	122	32	3.8		中計	276	11	265	82	3.2		中計	773 <108>	72 <7>	701 <101>	280 <54>	2.5
芸術	53	2	51	8	6.4		小・中計	431	14	417	179	2.3		小中合計	1,552	104	1,448	659	2.2
情報	33	3	30	3	10.0		理療	8	1	7	4	1.8							
福祉	8	1	7	3	2.3							養護合計	149	8	141	50	2.8		
高合計	1,347	131	1,216	275	4.4	特支合計	439	15	424	183	2.3	合計	1,701	112	1,589	709	2.2		

※農業・工業・水産実習を除く ※ (倍率) = (受験者数) ÷ 合格者数

2 平成 25 年度教員採用選考試験の結果発表について

- (1) 第 1 次選考試験結果 8 月 1 日 (水) 本人宛郵送。正午に、県庁本館 2 階に合格者の受験番号を掲示し、教育委員会ホームページでも公開。
- (2) 第 2 次選考試験結果 10 月 1 日 (月) の予定

三ヶ日青年の家 平成 25 年度の運営

(社会教育課)

1 三ヶ日青年の家 平成 25 年度 1 年間の運営方針

- (1) 陸上プログラムを主体とした青少年教育施設の運営を行う。
- (2) 海洋活動の安全性の確立に向けての取組を実施し、運輸安全委員会に報告する措置の実効性を高める。
- (3) 次の指定管理者への確実な引継ぎを行う。

2 三ヶ日青年の家 平成 25 年度 1 年間の指定管理者の選定

上記 1 (2) (3) を確実に実施できる管理者は、現指定管理者以外には存在しないため、非公募により、現指定管理者に運営させる。なお、非公募での指定においても、指定管理予定者から申請要項・仕様書に基づく申請書を提出させ、公募による指定と同様に、書面審査・プレゼンテーションを経て、指定管理者候補者として議会へ上程する。

3 スケジュール

年月	H24 4	5	6	7	8	9	10	11	12	H25 1	2	3	4
内容		← 申請要項・仕様書作成 →				要項・仕様書配布	← 申請受付 →	選定	● 指定(議決)	← 翌年度準備 →			● 業務開始

4 選定委員会の構成

立 場			備 考
1	委員長	危機管理専門家／大学教授	選定委員に危機管理及び海事に関する分野を専門とする有識者を追加 (○印の者)
2	委員	利用者代表／小学校校長	
3	委員	危機管理専門家／大学教授 ○	
4	委員	野外活動専門家／野外活動団体役員	
5	委員	海事専門家／海事代理士 ○	
6	委員	財務・経営専門家／公認会計士	
7	委員	施設設置者／行政	

5 審査項目

選 定 基 準	審 査 項 目	配点
県民の平等な使用の確保とサービスの向上	三ヶ日青年の家の役割の理解、対象者の偏りが無い事業計画	15
施設の効用を最大限発揮する事業計画	魅力的な主催事業の提案、効果的な研修プログラムの提案、利用者数の確保	20
管理運営に係る経費の縮減	委託料の金額、管理運営業務の効率化、経費削減の方策	20
事業計画に沿った管理運営を安定して行う能力	財政的基盤、類似施設の運営実績、専門的知識・技術を持つ所員配置	20
利用者の安全確保	海洋活動の安全管理体制構築、地震等緊急時の対応、事故防止の取組み	25
	計	100